

ellipse

[エリプス]

LECTURE

欧米に学ぶ教育…学校や家庭の現場で 多賀幹子氏 講演会より

楕円 (ellipse) には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心 (焦点) となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を [エリプス] と名づけました。



風のカノン (木炭)

風が吹くたびに草木が揺れ、女性の髪がなびく。まるでカノン (輪奏) のように。

吉村 雅利 画
〈お茶の水女子大学附属高等学校教員〉

REPORT

就職セミナーを開催しました
微音祭に出店しました

REPORT

臨時総会を開催

INFORMATION

お茶の水女子大学 新春イベント情報
事務局よりお知らせ

お茶の水フェスティバル2004
ご寄付のお礼 / 講師幹旋について



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会



パワフル&クリーン
これからのキッチンの主役は
「IHクッキングヒーター」



お問い合わせは 0120-432-910 (9時~17時・年中無休)
<http://www.tepco.co.jp>

おいしいパン 食べてますか。

ミミまでソフトで、
ほんの〜り甘い。

こだわりを
大切にする人に、
ぜひ選んでほしい
食パンです。



MIZUNO

人に優しい
ビジネス環境を
創造します

MIZUNOは、
2003年 ISO14001 認証
を取得しました

- ◆ゴミはもっと減らせないだろうか。 Reduce
- ◆これはもう一度使えないだろうか。 Reuse
- ◆新しい商品に再生できないだろうか。 Recycle



OA機器・オフィス家具
文具・事務用品
ソフトウェア作成・販売

東京本社: 文京区大塚 2-17-12
TEL: 0120-018-162 FAX: 0120-018-197

美津野商事株式会社

OLIVE Company

オリーブカンパニーは本づくりと
ホームページ制作をお手伝いします
お気軽にお声をおかけください

- 教材出版 自然科学
- 英文制作 語学
- 自費出版 写真集
- オンデマンド出版 イラスト集
- データベース 教育と学習
- ホームページ

Experienced in English documentation
and Japanese language programs

株式会社オリーブカンパニー 新宿区単町29-201
電話 03-3235-4001 oli-ve@td5.so-net.ne.jp (担当: 岡崎)



編集後記

大学では日々、各部署主催のセミナーやシンポジウムが開催されていますが、学外の方にはお知らせする手段が少ないので、今回、会報に掲載いたしました。ふるってご参加ください。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は5月発行です。約5,000部発行、広告料金は20,000円/回、会員の皆様をはじめ全国の公共機関などに送付します。その他、ブックレットの広告も募集しておりますので、詳しくは事務局へお問合せください。

事務局

OPEN 月~金 9:30~15:00
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。

欧米に学ぶ教育…学校や家庭の現場で 〈多賀幹子氏 講演会より〉

2003年10月25日(土)、お茶の水女子大学の卒業生でもあり、フリージャーナリストとして活躍中の多賀幹子(たがみきこ)氏を講師に迎え、講演会を開催しました。アメリカ・イギリスでの自らの子育てや取材体験を交えて、欧米の教育の現状について興味深いお話をいただきました。

きょうは、アメリカに5年、イギリスに6年暮らしたなかで、実際に学校や家庭で経験したことをお話します。私はお茶大の国文を卒業後、プリチストンという会社に入りました。それに2年間勤め、24歳で結婚しました。そして、夫の転勤でアメリカへ渡りました。そのとき、長男は小学2年生、長女は5歳で保育園に通っていました。

子どもは適応力が高いから英語を全く知らなくても大丈夫だろうと思っていたのですが、最初の3か月ほどは大変つらそうで、うつむいて足を引きずるように黄色いスクールバスから降りてくる日々が続きました。

娘の人生を変えた幼稚園の先生のひと言

ある日、娘が帰ってくると、足音がいつもと違って軽やかで、「わたし、えいごをがんばっちゃう。」と、宣言しました。わけを聞いてみると、それまで黙りこくっていた娘が、幼稚園ではじめて何か簡単な英語を話したら、友だちが「ワカコが英語を話したー！」と走って先生に伝えたそうです。すると、先生は娘にかけより、肩をだきキスをして、「ほんとうに先生はうれしい。英語というtoolを手に入れたら、あなたの世界は無限に広がりますよ。きょうがあなたの英語記念日！」とたいそう喜んでくれたそうです。それで、娘は「英語宣言」したのでした。その後は娘の口から、ほとぼしるように英語が出てくるようになりました。今まで黙って聞いて頭にためていた英語が、先生のひと言をきっかけに出てきたのです。先生が機をとらえて、子どもにきっかけを与えてくれたんですね。なるほど、プロだなあと感じました。

5年後に帰国して、娘は中学2年生のときに英検1級をとって表彰されました。高校2年生のときにロンドンのアメリカンスクールに移り、ロンドン大学の法学部を出て、現在は弁護士としてロンドン(シティ)で働いております。これもすべて、今思うと、あの先生の「きょうがあなたの英語記念日よ」というひと言から始まったと思います。



多賀幹子氏プロフィール

お茶の水女子大学文教育学部国文科卒、企業広報誌の編集長を経て、フリージャーナリストに。1983年から5年間ほど夫の転勤に同行してニューヨークに、1995年から6年間ほどロンドンに住む。女性・社会・教育問題・異文化を中心に執筆活動・講演・テレビ出演などで活躍中。現在、NHK出版「すくすく子育て」に「多賀幹子のこんな育児あんな子育て」を連載中。朝日新聞、日本経済新聞、婦人公論、アエラなどに定期寄稿。今春には「ソニーな女たち(仮題)」(柏書房)を出版予定。

「自尊の心」を育てるほめ育ての国アメリカ

アメリカの幼児教育の根幹は「ほめそだて」にあります。self esteem「自尊の心」を育てることを大切にしています。大人になって、いろいろな誘惑があっても負けない心、自分を大事にする心を育てています。

一般家庭もそうです。「元気なお嬢さんですね。」とほめたら、その母親は「あなたもそう思います？私も前からこの子は明るくて、友だちとよく遊べるいい子だと思っていましたわ。」とかなんとか、自分の子をほめちぎるんです。日本の「豚児」「愚息」の謙遜の文化とはずいぶん違います。これは、相手に言っているというより、子どもにメッセージを伝えているんです。

夫婦もしゃあしゃあとおほめるんです。あるご家庭を訪問したときのことで、ご主人がでてきて、「よく来てくれたねえ。ワイフは今、台所にいるけど、すぐ来ますから。彼女はよい母親だし、会社ではエグゼクティブでもあり、料理もうまい。なんていっても美人だし…」とほめるんです。そこに、出てきた奥さんは、KONISHIKIそっくりで唾然としました(笑)。アメリカというのは、英語ができない人にも温かいし、家族をとても大事にするし、自由闊達で面白くて「ほめ育ての国」だと思いました。

イギリスの教育制度と女性の学力優位

アメリカのパブリックスクール(公立の学校)では、外国人も学費が無料、スクールバスも無料、英語を話せない

生徒にESL(English as a Second Language)の先生をつけてまで英語を教えてくださいました。イギリスの学校制度は、アメリカとはまた違っていました。イギリスでは、コンプリヘンシブというのが公立で、パブリックスクールというと、チャールズ皇太子の息子のウィリアム王子が通うイートン校、ハロー校などの名門私立校を指します。世界中の植民地にエリートを派遣していた大英帝国時代、その子弟のために作ったボーディングスクール(全寮制学校)を前身としているので、学業優秀であり、なおかつ貴族の称号を持つ人や上流階級の子弟が行くところです。

イギリスでは、近年、女性の学力上位、「ガールズパワー」ということが話題になっています。5~16歳の義務教育を修了すると、毎年6月に全国の約50万人がGCSE(General Certificate of Secondary Education)という義務教育修了資格試験を受けます。自分の得意な12、3科目を選んで受験し、それぞれA*(エイスター)からABCDEFGHまでの成績がつけられます。成績はすべてガラス張りで、8月にタイムズ、ガーディアン、デイリーテレグラフのような高級紙といわれる新聞に掲載されます。ここで、科目別、学校別、男女別の結果がすべて公表され、親の学校選びの参考にされています。この試験の結果を見ると、圧倒的に女性が優位。昨年、A*をとった人の比率をみると、女性は5.9%、男性は4.1%、A*ABCまでの合計だと、女性が62.4%、男性は53.4%、しかもその差は開いていく傾向にあることがわかりました。

8年連続で全国トップを誇るセントポール女子校

GCSEでいつも注目を集める全国一の学校は、私立の中高一貫教育のセントポール女子校で、8年連続トップという記録を誇っています。オックスフォード、ケンブリッジなど名門大学への進学率が非常に高いのです。優秀な生徒が集まっていて、生徒どうしの切磋琢磨がすばらしい学校でした。13~17歳の思春期ですから、あの子がデートに誘われたとか、ミスなんかにかに選ばれたとか、そんな話題が気になる頃です。勉強ができると男の子に嫌われるのではないかの抑制が女の子にはたらきがちですが、男女共学でないため、女の子が伸びのびと勉強に集中でき、それが学力向上につながっているようです。イギリスのGCSEで成績のよい順番は、女子校、次が男子校で、一番悪いのが男女共学という結果です。

1997年に労働党のトニー・ブレアが政権につき、プランケット教育相が、男子生徒の奮起を促そうと問題点を探っ

たところ、男の子の周囲に大人の男性がいなかったことが原因のひとつに浮かび上がりました。イギリスの離婚率はヨーロッパである上、父親が誰かわからない子どもを生み、未婚の母として福祉にぶらさがって生活するティーンエイジャーも少なくありません。

女性のキャリア志向と出産年齢の二極化

出産については二極化が進んでおり、キャリアのために結婚をしたり子どもを生むのを先送りにする女性も増えています。ブレア首相の夫人が45歳で出産をしましたが、それはイギリスではめずらしくなく、高齢出産とはだれも言いません。35~40歳の出産数が25~30歳の出産数を超えていて、すでに平均初産年齢が30代になっています。生殖医療の進歩で、極端な例を言えば、若いときの卵子を冷凍保存し、30~40代の仕事が忙しい時期が過ぎてから、精子バンクで精子を買って、生む人もいます。55歳の定年後に出産して、子育てを楽しむ人もいます。

このような諸々のケースが重なり、5世帯のうち1世帯が母子家庭であり、小学校の先生の92%は女性であり、男の子にとってロールモデル(お手本)がいなかったことが指摘されました。そこで、男性の小学校教師を増やしたり、男の子が興味を持つものを教材に取り入れるなど改革がなされたのですが、何をしても男子の成績が上がることはありませんでした。それで、もう女子の成績が上でもよいではないか、イギリスといえば、エリザベス女王を戴く国であり、「鉄の女」サッチャー首相を生んだ国、ありのままを受け入れようではないかということになりました。

女性の力を伸ばす社会へと向かうイギリス

なぜ、女子たちはがんばるのか、それは、「学業をがんばれば必ず社会に出てから報われる」と信じているからです。しかし、男女の平均賃金を比較すると、女性は84%です。大手企業の女性役員はわずか7%、グラスシーリングとはいいたくありませんが、依然として男女の壁があります。これを女の子は敏感に感じているからこそ、資格のある職業に向かってパワーを発揮しているのではないかと考えられるようになりました。医学部の過半数が女性で、弁護士も20代では女性の方が多い、薬剤師にはインド系の女性が多く、建築士も女性が多くなっています。このようなことから、現在は、男子の成績をなんとか上げようとするよりも、優秀な女性の力をそのまま伸ばす社会をこそ目指そうという方向にイギリスは変わってきています。

就職セミナーを開催しました

2003年9月30日(火)、大学生を対象とした「就職セミナー」を開催しました。お茶の水女子大学からのインターンシップ生の早川朋江さん(文教育学部3年生)、森 亜紀奈さん(文教育学部1年生)が企画運営にあたり、就職内定者の体験談を聞きました。



80数名の参加者で熱気にあふれる会場

就職は学生にとって大きな関心事であり不安でもあります。この「就職セミナー」では、就職内定者の体験談を聞くことにより就職活動の実際を知り、質疑応答を通じて就職活動に対する不安を取り除き、より有意義な就職活動につなげることを目的としました。

80名を超す参加者で会場は熱気にあふれ、積極的に質問の手があがり、大学生の就職に対する関心の高さがひしひしと伝わってきました。



体験談を語る綿内真由実さん

【第1部】13:00~14:00
「内定者による就職活動体験談」(講師：就職内定者3名)「どの時期に何をしたらか」など就職活動の流れや、「今の時期からしておくべきことは何か」など

先輩へのアドバイスをいただきました。

【第2部】14:00~15:00「質問・交流会」(講師：就職内定者5名)会場をラウンジに移し、就職内定者を囲んで学生たちが自由に質問したり、就職を考えている学生どうしの情報交換を行いました。

参加者アンケートでは、「いろいろな境遇、学部の講師がいてよかった」「気軽に参加できた」「希望職種、同じ学科の人の話を聞きたかった」などの意見が寄せられました。

◆講師としてご協力いただいた就職内定者のみなさん

- 綿内真由実さん(出版社)人間文化研究科人文学博士前期
- 江頭明希子さん(銀行)人間生活科学科発達臨床学講座
- 青木千佳さん(IT企業)生活環境学科人類科学講座
- 佐藤寛子さん(電力会社)人文学科地理学コース
- 横川麻美さん(メーカー)物理学科

体験談・質疑応答の全記録はホームページの報告書に掲載されています。
<http://www.npo-ochanomizu.org/news/031202A.html>

徽音祭に出店しました

2003年11月8日(土)~9日(日)、徽音祭(お茶の水女子大学の学園祭)が開催されました。お茶の水学術事業会では「健康セレクトショップ」を出店、日頃の活動を在学生や市民にアピールしました。

お茶の水女子大学 生活環境研究センター(近藤和雄センター長、大塚譲教授、佐竹元吉教授、富永典子教授)のご協力のもとパネル展示と協賛商品の配布を行いました。

ポリフェノール、カテキン、中鎖脂肪酸などを含む生活習慣病予防効果がある健康食品を詰めた「福袋」100セットを来場者に配布しました。とくに若い女性や子供連れの主婦の方に好評でした。また、お茶の水女子大学に関心をもつ受験生とご家族の方なども足を止め、熱心に説明に耳を傾けてくださいました。おかげさまで、「お茶の水ブックレット」(No.1「教育と平和」アフガニスタン女子教育支援シンポジウムより/No.2「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」)を計120冊販売でき、よい広報活動となりました。



福袋の配布やブックレット販売では、学生ボランティアも大活躍。



福袋の中身はご覧のとおり話題の健康食品がぎっしり!

商品協賛企業一覧

- アサヒビール株式会社
- 株式会社伊藤園
- キュービー株式会社
- 武田薬品工業株式会社
- 日清オイリオ株式会社
- 日本浴用剤工業会(株)ポッカコーポレーション
- 明治製菓株式会社

臨時総会を開催—定款変更について

平成15年10月25日(土)の臨時総会において、定款第5条(事業の種類)の一部変更について、賛成多数で可決されました。これは、現在の会費依存型の運営、ボランティアの無償または低報酬の労働に支えられた運営から脱して、新たな収入源の開発に努めていくための準備です。東京都の認証後、定款第5条第2項が太字のとおり変わります。

なお、総会で承認された議案のうち第5条2の五にありました損害保険代理および生命保険の募集などに関する業務は、会員向けの共済事業以外の保険販売はNPOにはなじまないという東京都からの指導があり、追加を見送りました。

第5条 この法人は第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

- 一 教育・研究活動に関する事業
 - 1 セミナー、シンポジウム等開催事業
 - 2 リカレント・リトレーニング等講座開設事業
 - 3 国内学会の企画運営、国際学会等の準備事業
 - 4 講演等の講師派遣斡旋等事業
 - 5 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業
 - 6 学術関連等の出版事業
- 二 国際交流に関する事業
 - 1 学生の国内・国際学会出席等事業

- 2 国内及び海外におけるボランティア活動等事業
- 3 国際協力における大学間連合等への研究・教育事業
- 4 留学生の交流活動事業
- 三 教育研究施設等の整備保全に関する事業
 - 1 奨学金運営事業
 - 2 保育及び子どもの健全育成のための助成事業
 - 3 学生寮等学生生活への助成事業
- 四 経済活動における男女共同参画促進事業
 - 1 女性ベンチャー起業への助成事業
 - 2 女性事業家・起業家育成のためのセミナー、シンポジウムの開催
 - 3 女子学生等を対象とした就職セミナー等の開催
- 五 男女共同参画社会のための啓発事業
 - 1 機関紙(誌)、教育・研究等に関する啓発書の発行
 - 2 ホームページの開設・運営
- 六 その他目的を達成するために必要な事業

2 この法人は、次の事業を行う。

- 一 事務処理サービス事業
- 二 機関紙(誌)への広告掲載事業
- 三 編集、出版、印刷およびデジタルコンテンツの制作事業
- 四 衣料品、文具、生活雑貨の企画販売事業
- 3 前項に掲げる事業は、第1項に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その収益は、第1項に掲げる事業に充てるものとする。

おかげさまで会員数は約1400人になりました!

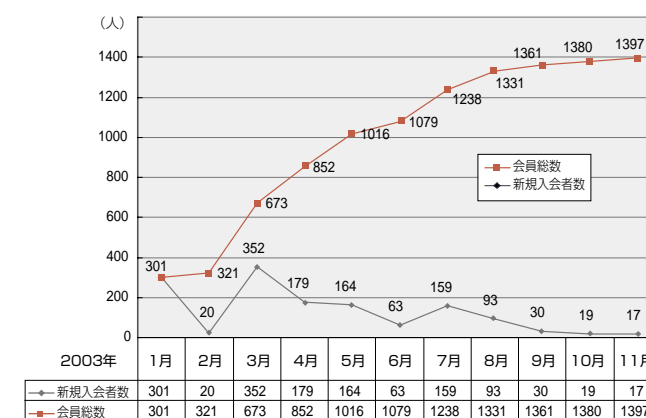
2002年12月の設立から1年が経過しました。会員数と会費収入の推移を振り返ると、順調な1年であったことが感じられます。2002年度は実質3か月という短期間にもかかわらず、お茶の水女子大学の教職員、名誉教授からの会費・寄付金が大きく貢献し、総額17,565,191円の活動資金が集まり、よいスタートダッシュとなりました。

また、お茶大卒業生約1万8,000人への入会案内DMの効果で、2003年3月~5月は集中的に約700人のご入会があり、この時点で会員数は1000人に達しました。

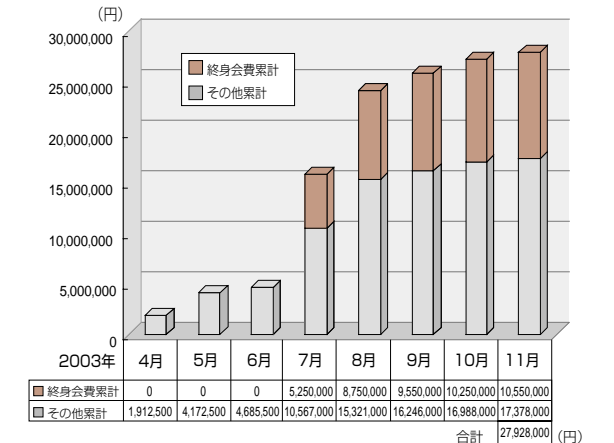
7月にはお茶大の前身である東京女子高等師範学校の卒業生約2000人にご入会と終身会費(5万円)の納入をお願いしたところ、200人以上のご入会がありました。

現在は月に十数人程度の入会者数に落ち着いていますが、会員総数は1,397人(2003年11月末現在)となり、2003年度(4月~11月)の収入は27,928,000円ありました。会員・寄付者の皆さまをはじめ、PR活動にご協力くださった、社団法人桜蔭会、社団法人作楽会、鏡影会、茗鏡会、ちぐさ会 の皆さまに、厚く御礼を申し上げます。

会員数の推移



会費収入の推移



お茶の水女子大学 新春 イベント情報

2004年2月以降にお茶の水女子大学で開催される公開講座など各種イベントのお知らせです。直接、主催者にお問合せください。

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2004年2月2日(月) 17:30~19:00	LWWC 講演会 未来開拓シリーズ 第2回 演題：子供の人格形成について(仮) 講師：菅原すみ 人間社会科学科 心理学講座 助教授	無料	主催：お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター (お問合せ) FAX 03-5978-5362 E-mail: life-kt@cc.ocha.ac.jp
2004年2月21日(土) 14:00~17:00	お茶大COE主催シンポジウム「科学技術政策とジェンダー」 【基調講演】「EUにおけるく女性と科学」政策の推進 ニコル・ドゥワンドル/ヨーロッパ連合研究総局「女性と科学」部長【パネルディスカッション】「科学技術分野におけるジェンダー主流化政策をめぐって」	無料	主催：お茶大COE「ジェンダー研究のフロンティア」 (お問合せ) 事務局 TEL 03-5978-5547 E-mail: f-gens@cc.ocha.ac.jp 会場：お茶の水女子大学 理学部3号館701
2004年3月1日(月) 18:30~20:00	LWWC お茶の水学術サロン 第4回 演題：サウジプロジェクトを振り返って 講師：三浦 昭氏 (三菱化学株式会社 相談役)	無料	主催：お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター (お問合せ) FAX 03-5978-5362 E-mail: life-kt@cc.ocha.ac.jp
2004年3月6日(土)	講演会「アジア認識とジェンダー(仮)」 【講師】李小江/大連大学性別研究センター長 お茶の水女子大学ジェンダー研究センター客員教授	無料	主催：お茶大COE「ジェンダー研究のフロンティア」 (お問合せ) 事務局 TEL 03-5978-5547 E-mail: f-gens@cc.ocha.ac.jp
2004年3月19日(金) 15:00~17:30	食の安全性に関するシンポジウム Part.3 「ダイエタリーサプリメントを考える」 ハーブ、ビタミン、ミネラル ◇ビタミンとミネラルの摂取量と機能性 ◇ハーブ等の天然素材とその安全性	無料	主催：お茶の水女子大学 生活環境研究センター (お問合せ) 近藤研究室 TEL 03-5978-5812 佐竹研究室 TEL 03-5978-5806
2004年3月20日(土) 春分の日 10:30~16:00 (受付 10:00~)	理学部一般公開「お茶の水博士の体験授業」 ◆特別企画「虐待のメカニズムを考える～心理学、生物学からの考察」室伏きみ子教授(生物) 内田伸子教授(心理学)による講演と討論 ◆公開講演「やわらかな物質が生み出すしなやかな世界」今井正幸教授(物理) / 「化学物質～嫌われものたちの素顔～」山田真二教授(化学) ◆体験授業・パネル展示 など	無料	主催：お茶の水女子大学 理学部 会場：理学部3号館 7階 大講義室 (お問合せ) 理学部事務局 TEL 03-5978-5723
2004年4月~ (詳細未定)	平成16年度 お茶の水女子大学 公開講座 講座例「パソコンなんてこわくない!(仮)」 「日本文学の魅力(仮)」	有料	詳細が決まり次第、大学のホームページに掲載します。 (お問合せ) お茶の水女子大学 企画広報室 TEL 03-5978-5105 公開講座のページ http://www.ocha.ac.jp/koukai/
2004年4月12日(月) 18:30~20:00	LWWC お茶の水学術サロン 第5回 演題：原子力とその安全性について(仮) 講師：柴田 徳思氏 (高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター教授)	無料	主催：お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター (お問合せ) FAX 03-5978-5362 E-mail: life-kt@cc.ocha.ac.jp

お茶の水学術事業会 入会要項 あなたの社会貢献の第一歩としてぜひご入会ください!

- 入会資格 趣旨にご賛同くださる方なら、どなたでも入会できます。
- 入会方法 郵便局の払込取扱票にお名前・住所・電話番号、通信欄に必要事項(会員区分/生年月日/会費口数/メール/FAX)をご記入の上、今年度分の会費をお支払いください。入会受付後、1ヶ月以内に会報のお届けと会員番号のお知らせをいたします。
【郵便】00100-3-583029
特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会
※払込手数料は各自でご負担ください。
※ホームページからお申込みいただく場合は、払込取扱票の通信欄にはご記入なさらないでください。
- 会員区分 □正会員 □個人賛助会員 □法人賛助会員
※正会員には議決権があり、毎年の総会にご出席いただけます。欠席の場合には、委任状を提出していただけます。個人賛助会員・法人賛助会員には、議決権がありません。

- 会費 個人 月会費 1口 500円(年 6,000円)
※できるだけ2口(年12,000円)以上お願いします。
※70歳以上の方は一括5万円(終身会費)の納入も承ります。
法人 年会費 1口 30,000円
- その他
・ご寄付も随時受け付けております(金額自由)。
・会員と寄付者に感謝の意を込めて、会報やホームページにお名前を掲載させていただきます。匿名希望の方または金額の掲載を希望されない方は、その旨を通信欄にお書き添えください。
※匿名希望の有無にかかわらず、会員名簿を配布したり、住所などの個人情報に外部に提供することは一切ありませんので、ご安心ください。
- お問合せ お茶の水学術事業会 事務局
TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org

お茶の水フェスティバル2004

昨年、ご好評いただいたイベント「お茶の水フェスティバル」を今年も総会同日に開催します。会員の多くは卒業生なので、この日を「ホームカミングデイ」として学科単位に懇親会のテーブルをご用意します(お申込みがあった学科を対象)。遠隔地にお住まいの方も、ぜひ、この機会に懐かしい母校で同窓生との旧交を温めてはいかがでしょうか。

〈開催概要〉

日時：2004年6月5日(土)
第1部 講演会(14:00~15:30)
第2部 ガーデンパーティ(16:00~18:00)
場所：第1部 共通講義棟2F
第2部 総合研究棟前広場(雨天のときは食堂)
※講演会の内容は現在未定ですので、後日、ホームページでお知らせします。

ご寄付のお礼

会員およびご寄付をくださった皆さま、いつもご支援をいただき誠にありがとうございます。この度、高額なご寄付がありましたので、ここにご報告申し上げます。
松本 千代栄 様(お茶の水女子大学 名誉教授) 100万円
丹澤 巧 様(お茶の水女子大学 被服学科 昭和29年卒業) 100万円

講師幹旋について

講演会やセミナーの講師の幹旋を行っております。ご要望に合わせて最適な講師をご推薦します。自治体主催の市民講座や講演会など、講師のご要望がありましたら、お気軽にお問合せください。



埼玉県富士見市「男女共同参画セミナー」にて
日時 平成15年11月15日(土) 14:00~16:00
主催 富士見市/富士見市男女共同参画推進会議
演題：「身近な税や年金～男女共同参画の視点から～」



講師：山谷 真名氏
お茶の水女子大学修士修了。
現在、市原看護専門学校非常勤講師、NPO法人NAFA子育て環境支援センターで活躍中。



←参加者が活発に意見交換するグループワーク

会費納入のお願い

平成16年度分の会費を4月中に、同封の払込取扱票を用いて郵便局からご納入くださるようお願いいたします。なお、年度の途中に入会された場合も、会費有効期限は年度末となりますので、ご了承ください。

郵便自動引落のかたは、4月12日に郵便口座より引き落としをさせていただきますので、ご準備をお願いいたします。年2回払いのかたは、4月と10月に引き落としをさせていただきます。

- ご注意
- ★ご住所など登録情報に変更がある場合は、払込取扱票の通信欄に変更箇所をご記入ください。
- ★金額(口数)を変更する場合は、郵便局の払込取扱票に変更後の金額をご記入いただき、通信欄にその旨をお書き添えください。

【郵便】00100-3-583029

特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会

正会員の方へー平成16年度総会

お茶の水学術事業会臨時総会を2004年6月5日(土) 13:00より行います。詳しくは、5月下旬にお送りする開催通知をご覧ください。

お知らせ

お茶の水ブックレット

第1号「教育と平和—アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」(緒方貞子+OAA編集会 著)に続き、第2号「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」(本田和子+土屋賢二+OAA編集会 著)を発行しました。1冊500円(税込・送料別)でお求めいただけますので、FAXでご注文ください。
FAX: 03-5976-1478



助成事業について

社会教育の推進、男女共同参画社会の形成、子どもの健全育成を推進することを目的とした助成事業を行っています。助成を受けたい方は、受付期間(平成16年3月31日締切り)に申請してください。募集要項は事務局にご請求ください。

投稿募集

(1) 社会教育の推進 (2) 男女共同参画社会の形成 (3) 子どもの健全育成について、あなたの意見を投稿してください。原稿は郵便またはFAXで、連絡先を明記して事務局へお送りください。